

レクチャー1 生命の分析 ^{9P~11P}原因を知ること

- ◎現象の世界は絶えず流動して変化している。大変化は一つの流動する仮の現象に過ぎない
- ◎私たちは何か絶対的なものを見付けようというわけで、こうして精神世界を探究をやっているわけで、このアダムスキー問題で、そうしてしかもアダムスキー哲学が非常に私たちに大きな指針となって、大いなる勇気と希望を与えてくれます
- ◎1964年自家版として少数出版「生命の科学」毎月一課づつコーワーカーに送られる。
- ◎アダムスキー哲学…… テレパシー・宇宙哲学・生命の科学
- ◎第一課を読んだアダムスキースクールの生徒たちがこれを生活に実践したところ、素晴らしい奇跡が次々と起こってきた。
- ◎物の考え方（メンタリティー）が白人と東洋人は違う。それからフィーリングが違う。
- ◎生命の科学は現代地球において大きな偉大な哲学を打ち出した
- ◎「生命の科学」を絶えず持ち歩いて読むようにしていると、ものすごい一つの変化が生じるはずです。
- ◎「生命の科学」がいかにものすごいか見極めて、内部のフィーリングでそれを感じるようにして研究してみてください。
- ◎創造主は万物を造りだした英知であり、パワーである。したがって創造主を知ろうと思えば万物を見ればいい。
- ◎われわれは万物の創造物を見ればこんな素晴らしい人間とか、その他動物、植物を作り出した創造主というものは、われわれの想像を絶した大いなる力であり英知である。
- ◎「意識」は人体を生かしている根源的な意識……「宇宙の意識」
- ◎因……… 肉体を生かしている根源的な宇宙の意識
- ◎自然を知るために自分の心ではなく、意識でもって現象である結果を見る。そうしてその原因である因を知覚する。……*宇宙的生き方の根本原理*……
- ◎テレパシクなフィーリングでもって物の本質を知る。
- ◎心は肉体に付随する。つまり肉体から出てくる一つの機能。内部の意識から来る物じゃない。したがって心だけを用いて考えても本当の本質が分からない。

◎心を無くすわけには行かない。心は判断するための機能であり、道具でありそれは必要。

◎心を意識と一体化させる。そうすれば意識という物は万物を知っている神の知恵そのものですから、本当の知恵、情報が内部から沸き起こってくる。……………テレパシーの原理

◎6月30日異星人の人と出会う。勇気付けられ、心が活性化、高揚したフィーリング。

◎なぜ地球人はテレパシー能力が発達しないのか。地球人は言葉に頼り切ってるから音響に頼り切らないで、内部から発する意識からの波動をキャッチするようにすればよい。

◎親しい人が一切言葉を発しない。内部の想念波動で相手に呼び掛ける。相手はものを言わないでキャッチする。そういう生活をやると次第にテレパシー能力が発達してくる。手紙の封を切る前に手紙を持ち上げて、これは何が書いてあるか、手紙の中から出る波動をキャッチする。電話が掛かってきたら、一瞬ちょっと置いてこれはどこのだれからか、だれがどうゆう用件で掛かってきたんだろうかテレパシーであらかじめキャッチする練習をする。

質問

◆われわれは個人的に宇宙の創造主を見ることは出来ませんので、創造物を通じて創造主を探究しなければなりません。そしてこの創造物はわれわれが自然と呼んでるもののなかに現われています。なぜならそれが「至上なる英知」の具体的表現であるからです。（10P）

あなたが自然の創造物から感じたこと、感動したことを述べて下さい。

レクチャー1 生命の分析 — ^{12P~16P}原因を知ること —

- ◎本は読むだけではダメ。自分の内部の意識でもって、いわば「精髓」と直結しなければならない。知識は全部覚えないと読まなかったのと同じ。記憶は非常に重要。
- ◎生命の科学は読んで覚えていればよいというものではない。中に書いてある本当のエッセンスを（内部の意識でもって）わからなければならない。
- ◎結果と原因が非常に重視される。
- ◎意識の指令……自分の心ではなく、もっと奥のほうから何かの印象。頭の中で声が響くことがある。
- ◎悪はあらゆる完全さを形成する中の一つの過程として出てくるもの。悪はいずれ進歩してゆけば無くなる。（600年後、地球は金星のような惑星になる。）
- ◎岩波書店 新約聖書 マタイ福音書 マルコ福音書
- ◎ソフィーの世界が一番しまいのところに超能力とかUFOこんなものはオカルトだから信じないほうがよいと書いてある。良い本だというのは打ち消す。
- ◎「脳内革命」プラス発想こそが最高の薬になることを医学的科学的に明らかにした。
（サンマーク出版）
- ◎人間の大きな目的は「宇宙の英知の無限の表現」であるように思われます。
- ◎現象というものがすべて宇宙の英知によって造られたのであるとするならば、それが完成したものであっても、あるいは未完成なものであっても全部理解する必要がある。一時の過程として悪を理解する必要がある。
- ◎細胞は成人で60兆ある。
- ◎地球では人生で何を成すべきかという役割をだれも教えてくれない。本当の役割を教えてくれた人はいない。自分で人生の役割を漠然と考えている。。
- ◎何かすでに出来上がっているもの自体に心が捕われている。
- ◎金星人は海へ行っても山に行っても常に創造主の生命というものを感じている。
- ◎四つの感覚器官、目、耳、鼻、口これらを形成している細胞の役割はそれぞれ違う。地球人の感覚器官はそのため独自の役割を持っているので、自分の方が上だとお互いにケンカをやっている。……心の乱れ

◎「植物の神秘的な生活」工作舎

◎原因……なぜこんな現象が出てきたのか、そのもとの理由。

◎電気の流れ、電気の導体は自由電子の流れ。電子は完全な生き物。電子自体が意識を持って動く。想念が乱れた状態で機械に悪影響を及ぼした。

◎自分が使っている電気機械があれば、それをうんとかawaiiがって、常にそれによい想念を吹き掛けて使えば使えば故障は起こらないだろう。自分の持ち物はとにかくかawaiiがってやる。

◎宇宙思念は単なる瞑想ではなくて、自分の内部に全身にみなぎっている宇宙の意識といういわば生命力をハッキリと自覚するための一つの手掛かりになるものです。

質問

◆完全な知覚力を持つようになるならば、初めは二人の自分が存在するような気がします。

心の活動と意識の指令の二つです（12P）

あなたが実際に二人の自分が存在しているように感じた体験を思い出して下さい。

◆そこでわれわれはこれまで心がやってきたように、結果を究極の解答と見なさないように各感覚器官から成り立っている心をまず調整する必要があります。つまり何らかの結論に達するまでに結果（現象）の生じた理由を忍耐強く分析するとよいのです。（15P）

分析することの重要性について考えてみましょう。

月例セミナー300回記念 特別月例セミナー
特別講演 『日本GAPの歩みと私の人生』

◎子供の頃から不思議なことの連続

◎1969年7月 東京へ移住 その頃会員が120名

◎現在まで26年、昨年の8月でもって月例セミナー300回

◎小学5年UFOをはっきり目撃。夜、家の前のお寺さんを見ていると、本堂の上を低空で月の倍くらいの大きさに飛ぶのを目撃。現在に至るまで数限りないUFOを目撃。

◎戦後間もなく、新聞に空飛ぶ円盤という言葉が出始めて、それが連日のように新聞に出たのを覚えていたが、関心はなかった。アメリカかソ連の秘密兵器だろうと思っていた。

◎1953年8月の終か9月の初め、田舎の書店に入って、「空飛ぶ円盤実見記」を発見飛び上がらんばかりに驚く。本当だと思った。3日3晩眠れず。

◎アダムスキーの2番目の書物「宇宙船の内部」を翻訳「空飛ぶ円盤同乗記」として高文社から出版

◎アダムスキーの書いている英文は独特の用語が多い。アメリカ人で助言をしてくれる人がいればと思ったら現われる。ロバート・カンニガム氏 ルーテル派の牧師

◎人間は優れた人と接触して教えを受たり、あるいは意見を交換したりしないといけない。

◎Cheer up とアダムスキーに励まされ、日本GAPを始めるよう要請を受けて1961年9月に始める。

◎会報はUFOの研究の文通の仲間に15～6人に無料で配ったのが第1号

◎資本金1000万で出版社始める。「コズモ」から「UFOと宇宙」雑誌編集5年間

◎地球世界は人間関係が重要。孤立しても、取り入ってもだめ。そこでアダムスキー哲学が生きてくる。

◎どんな人間でも宇宙の意識で生かされている。宇宙の意識とは宇宙全体に満ちている創造主。

◎宇宙の意識は人間を完璧な状態に生成発展させる力がある。

◎人間の内部には、完璧に美しい姿、精神も完璧に宇宙的に向上した精神が人間のだれにも原形がある。……イデア論

◎宇宙全体は意識体である。

◎生命エネルギー、英知、愛（調和性）これが宇宙の意識の本体。

◎たえず自分の想念の中に宇宙の意識（神、創造主）をいつも自分で思念しているか全く思念していないかによって人間のカルマはまるっきり変わる。

◎宇宙の意識を絶えず心の中に思い浮かべていること。

◎調和性を生かすには、自分の心を調節して、宇宙の意識のほうに向かわせて、宇宙の意識と完全に一体化させてしまう。

◎生命エネルギーを感じる……自分は生きている、自然治癒力。

◎恐怖心と不安によって全身の細胞に悪影響を及ぼし、自然治癒力を遮る。

◎アダムスキーの「生命の科学」を徹底的に読み返して下さい。

◎信念の力が重要。

◎心の中にはっきりとイメージを描くこと。目標達成、実現は成功してうまくいって大喜びしている光景をハッキリ描く。

◎霊===波動

◎動物が波動を感じるのは、動物が全く自然と一体化しているからであって、人間が波動を感知することができないのは、自然との一体化というものとは程遠い生活をしているからであると思われる。

◎恐怖を除く一つの方法として、常に笑うこと。笑うということは、非常に心が楽しくなってくる状態で、恐怖とは反対。

◎自分は楽しいんだ。うれしいんだ。喜ばしいんだという積極的な想念を起こしていれば笑顔が出てくる。

◎ジャンヌ カルマンさん 120才 長生きの秘けつ……いつもにこにこしていること

◎「どこへ行っても楽しいことだけが自分を待ち受けている」

◎関東大地震は少なくとも15年～20年は起こらない。来年あたりに中規模の地震がある

レクチャー1 生命の分析 — ^{17P~19P}原因を知ること —

◎原因と結果⇒因果関係⇒因果の法則 原因 Cause 結果 Effect

◎一般の人はあまり因果の法則を考えない。

例えば、ひどく腹を立てれば、その激しい感情によって体に悪い影響を起こす。非常に愉快的な感情を起こせば体の調子が非常によくなる因果。

◎失敗したら構わないから、今度はうまくやるぞと最初に自分がよく考えて、先の先まで読み取るというようなそういう生き方が重要。

◎肉眼で見るのはあくまでも結果から結果、現象しか見ていない。（地球人の特長）

◎意識を通じて原因に気づく

神の心というものが誰の中にでもあり、それが人間を生かしてる。それを通じて原因に気付くとは、内部にある宇宙の意識（神の心）が人間の心に対して原因はこうであると印象でもって知らせてくれる。

◎本当に自分の内部の意識（神の心）というものに自分の心の意識を向けているならば、どんなものを見ても内部に生命があるということが分かる。

◎表面の肉眼で見える表面だけのものを見ていたんでは人間の感覚は高まってこない。物的証拠を求めてはダメ。

◎心証——→心の中で感じる確信

◎あらゆるものに宿る宇宙の意識（宇宙の創造主の意識、創造主そのもの、神の心、神の魂
宇宙の魂）

◎原子自体は一個一個生き物。原子一個一個に意識がある。

◎意識的な印象によって心にやって来る最初の結果…… アイデア

◎絶えず内部の意識は心に対していろんなメッセージを発しながら教えている。

◎心の知性——→自分の考える力

◎よい結果を生じさせるには、心は意識（内部の神の指令、神のメッセージ）を完全に信用し心が意識によって導かれる必要があります。

◎カント哲学のアプリオリの直感力という言葉はテレパシーのことを言っている。

◎盲目的な信念……… 未だ実現はしていないけれどやれるんだと自分で考えていること

◎信念はあらゆる現象の基礎です。人間の生活の中でもっとも重要。

◎なぜ長生きするのかの調査をやった結果、くよくよしないことだという人が圧倒的に多かった。これは明らかに自分は長生きするぞという強い信念を持って生きている。

◎「信念の魔術」 ダイヤモンド社 1974年出版

◎「あなたにも超能力がある」ジョセフマーフィー著

◎ブーメラン効果……自分から相手を呪うような想念を發して、それが相手に届かなかった。または、相手が逆によい想念を起こしたらその相手に送った悪想念は自分に返ってくる。

◎意識…… 警戒の状態…… フィーリング（感じる）または知覚の状態

◎「見たり聞いたりしないで信ずるものは幸いである。その者は天国へ入るだろう。」

『テレパシクな能力のある人は宇宙の意識そのものを実感できるだろう』

◎天国…… 因の領域

◎①信念を持つこと ②自分の内部の神、宇宙の意識に気が付くこと。あらゆる無生物、万物の内部に宿る神そのものをはっきりと意識する。（意識的意識）これがポイントです。

質問

◆われわれの生活の99%は盲目的信念に頼っています。（18P）

あなた自身の具体的な盲目的な信念の実例から、信念の重要性を考えてみましょう。

◆意識とは警戒の状態といえます。（19P）

警戒の状態があなたの体験の中にありましたか？ その結果はどうでしたか？

レクチャー1 生命の分析＝^{19P}原因を知ることー

◎人間の想念波動は必ず放射されていて、それがどこかに影響を与える。われわれは悪い想念を起こせば悪い想念が誰かにキャッチされて、またその反動として、よくないことがやって来る。逆によい想念を起こせば、それがまた誰かにキャッチされて、よいことが自分に帰ってきます。これは絶対的な法則。

◎久保田先生は毎晩「宇宙の創造主」「宇宙の兄弟」への呼び掛けを行なっている。

◎11月2日夕方5時25分頃西の空に棒状の物体が立てに垂直に浮かんでいた。ものすごく光る巨大なもの。後に、同じ2日昼2時半頃に本部役員の加藤君が川崎の自分の家の近くにやはり棒状の物体が出ていた。4～5日経ってから突然電話があり、新宿のほうのある会社の社長の方（知らない方）実は2日の5時半頃新宿の上空に不思議なものがあつた。棒状の物体が立てにジーッとしていた。久保田先生と全く同じものを見た。あまりに不思議だから、社員達を呼んで大勢で見た。そのうち消えたがあまりに不思議だから、あちこちの気象庁や関係各庁に電話をかけて聞いたところが、「全く分からない」という解答があつた。最後に国立天文台に電話をかけたところ、そこの科学者が電話に出られたので、そのことを話したら、「それはジェット機でしょう」と言っていたそうです。

◎ふだん創造主に呼び掛けること（目に見えませんが）万物を生かしている根本的なものに呼び掛ける。それからスペース・ピープル、宇宙の兄弟に呼び掛けるというようなことを行なう必要がある。

◎意識……警戒（または注意）の状態。（外界にあるものを知覚しようとする）フィーリング、本能、創造主の言語。

◎疑って掛かると自分の直感力が出てこない。疑うのではなくこれは本物か、違うかということ直感的に感じるような能力を開発しないとイケない。

◎エマニエル・カントの純粋理性批判の中ではアприオリの直感力、これが人間にとって重要であつて、このアприオリの直感力によって人間は物事の真相を知ることができるんだということを手を変え品を変え言っている。

◎アприオリ……ラテン語で生来という意味、テレパシーのことを言っている。

◎われわれは何か物事を見たりするときに、これは本物かそうじゃないか、あるいはこれが正しいか間違っているかということを心で考えても分からない。

◎人間もダイヤと同じで、自分がでこぼこを取られてみがかないとダメ。欠点のために多くの人と衝突したり、いろんな不和が起こったりします。その度に自分が苦しむわけですが、それが要するによいわけで、自分がみがかれるわけです。

◎人間が削りとななければならないのはものは、精神の心の中の習慣的想念。

◎『学問上の常識はもう非常識。常に新しいものを求めていかないと進歩がない。』

◎楽天的にものを考えるということは、悲観的に考えるよりははるかによい。100才以上の人は、くよくよしない人が圧倒的に多い。

◎人間の起こす想念は、よい意味でも悪い意味でも力を持っている。とにかく良い想念をおこす。

◎自分が本当に幸せになるには、あらゆる人、万人を自分の恋人のように愛すると良い。そうするとあらゆる人から自分が恋人として愛される…… 動反動の法則

◎愛の想念は高周波、憎しみの想念は低周波。高周波と低周波は共振しない。

◎生命の探究者が先ず成さねば成らないことは、『原因と結果』についての絶え間なき知覚力を養うことにある。

◎なにもかも生き物だと思って大事にすることが、実際に想念波動を知るとそうせざるおえなくなる。

質問

◆意識とは何でしょう？ それを言葉で表わすのに最上の表現は、『警戒の状態』といえます。（19P） あなたがどのような時に警戒の状態になったか考えましょう。

◆「宇宙の創造主」「宇宙の兄弟」への呼び掛けをしていますか？

レクチャー2 心とその成分

23P～29P

◎O教団の問題が片付けば、今度は超能力ブームも本物が起こってくる。

◎UFOは依然として出現している。

◎4つの感覚器管はそれぞれ自分の意見を持つ。ですから人によって見方が違ってくる。

◎四つの感覚器官がまとまらないで、てんでんばらばらなことを言う……心の混乱

◎感覚器官の心…… Sence mind

◎人間の感覚器官の心はかなりいい加減なもの。絶対的なものでない。

◎二心……感覚器官があるものを好み、他の感覚器官がそれを好まない場合は二心ある状態。

◎ある現象は先ず意識（神・創造主）のなかではらまれて、次に結果（現象）の世界へ生れます。

◎肉体が創られる……母体の体内で受胎して、意識が大きくしてくれている。

◎地球人の心は非常に未発達で好き嫌いが激しい

◎自分の内部に絶対的な魂（宇宙の意識）が充満している。そのことを心が先ず考えよ。

意識を意識せよ

◎進歩した惑星の人達は、眠っている間でも内部の意識（宇宙の意識、魂）を考えている。気付いている。

◎宇宙全体が意識体。その意識体の一つの流れがわれわれの体を生かしている。一つの流れはあらゆる動植物、無生物までも生かしている。

◎心は努力する必要がある。

◎感覚器感同士が互いに尊敬しあうように訓練し、統合する。そうすると迷いは起こらなくなり、そのとき意識から来る正しい情報が感じられるようになる。（テレパシーの原理）
心を静めるためには心というものをお互いに調和させる。

◎愛…… 調和性

◎万人を自分の恋人のように愛すれば、逆に万人が自分を恋人のように愛し返してくれる法則がある。

◎「愛されることは滅びるが、愛することは滅びない」

◎人間の目は見えるものの表面しか普通は認識しない。だから地球人は遠隔透視の能力はない。

◎意識の教えは印象によってのみえられる……心をコントロールして沈黙の状態を続ける

◎私たちはものを見た場合。これはニセものか本物かを直感によって知るようになることをやっている。肯定的な考え。直感的な『ひらめき』を待つ。

◎人間というものは「私とは大宇宙そのもの大宇宙は私自身」こういう概念に到達することをあらゆる宗教・哲学が結局追及してきた。

質問

◆「二心ではだめだ」とイエスは言っています。一感覚器官があるものを好み、他の感覚器官がそれを好まない場合は二心ある状態です。それゆえイエスはあらゆる点で誠実であれと教えています。（24P）

あらゆる点で誠実であることを考えてみましょう。

◆意識から学ぶためには、心は素直な態度で各要点をつかむようにみずからを謙虚にしなければなりません。とゆうわけは、意識の教えは印象によってのみ伝えられるからです。

（27P）

意識の教えはこれだと確信を持ったことを思い出して下さい。

レクチャー2 心とその成分

29P～32P

◎昨年¹¹／₄の日、¹¹／₃ G A P東京セミナーの翌日、夕方5時半頃、江戸川区上空に出現した巨大なU F Oを目撃した。そのときは魂を揺さぶられるような印象を受けて、これは何か相当の一つのサインではあるまいかと思い、反省して、いろいろ考えるところがあり、とにかく地球人としての習慣的想念、習慣的な生活行動、これを根本的に改めようと決意

◎¹／₅にU F Oが出現。用事から帰って、マンションの大きな駐車場があるその前の専用道路に入ったときに、西の空に、丁度11月に母船が出現したあたりのちょっと低いところにオレンジ色に輝く卵形のものが浮かんでじっとしていた。雲は全く無く晴れた空。20分間目撃。これはG A Pに対して相当な良いことがあるんじゃないかという気がした。

◎今韓国ではU F Oブーム

◎精神世界探究のわれわれは、精神のほうを重視して、これを研究実践している。アダムスキーがなんと言ってるかといいますと、U F Oが別な惑星からやって来る。そしてそれを興味ある人々は、しきりに見よう見ようとしている。ところがそれよりもっと重要なのは異星人が伝えた宇宙的な哲学。これを私たちはどこまでマスターして実践するか、それをスペース・ピープルは願っている。

◎人間の能力はすべて等しい…… 最低の能力は最高の能力に等しい

◎一般的な平等はお互いに誰もが持ち物を平等に持って同じような生活様式をするという意味。ここでの平等は精神的な意味での平等あるいは社会的な重要度から言って平等といっている。

◎「天は人の上に人を創らず、人の下に人を創らず」

◎人間はみんな自分の仕事はお互いに金を儲けるためにやってるように見えますが、本当はそうじゃないんで、お金というのは生活に必要なものを買うためのものであって、本当は皆いろんな仕事を持って互いに助け合ってる。

◎嘆きの壁…… ソロモン王の神殿の唯一の名残

◎鍛冶工の物語は旧訳聖書には出てこない。ソロモン王が神殿を作ったことは出てきます。旧訳聖書の列王記上5章15節。鍛冶工の物語は旧訳聖書の外典から取ったと思われる。

◎「この世の人々からの栄光を求めるものは、天国に入ってゆくものを持たない。」

この地球世界で肩書きを求めることに熱中して、そしてその肩書きをもらったらこれをひけらかすという様なことをやるような人は、宇宙の意識というものに目覚めない。

◎「明日のことを思い煩うな」

未来のことに対して取り越し苦労をするな。まだ起こりもしないことを考えてくよくよするな。「鳥は蒔くことも刈ることもしないのに、父は彼等を養っていて下さる。」

◎天の父……内部に宿る宇宙の意識

◎イエスという方は二千年前地球に転生してこられた方である。イエスばかりでなく、イエスが選んだ十二人の弟子たちもやはりイエスを助けるために別な惑星から転生してきたと考えられる。

◎皆さんがたも時々新訳聖書をお読みになると宜しいです。新訳聖書をイエスの伝記として歴史書として読むとよい。

◎GOOD NEWS BIBLE 日本聖書協会

◎各人の重要さを知ること

◎人格高潔な想念波動を起こすことによって自分自身に非常によいことがやって来ます。自分が救われる。

◎絶対的な本当の悪というものはない。すべて絶対的な善しかない。

◎なぜあやまちを起こすかというと、結果（現象）によって自分を導くようにと人々から教えられてきたから、つまり現象の世界にしか頼ってない。

◎私たちは失敗して後悔します。後悔したならば二度とこの過ちは繰り返すまいと自分で決意して二度とやらないと気を付けていれば進歩です。

◎「私達が体験できる最も素晴らしいことは自分で不思議な体験をすることなんだ。」

不思議な体験はすべての芸術と科学の源泉 アインシュタイン

質問

◆最低の能力が最高の能力と等しいとは、真の平等とは何か考えてみましょう。

レクチャー2 心とその成分

96・3・17
32P~39P

◎2000年前、壮大な地球人救済計画を立てようとスペース・ピープルが大きなプロジェクトを組み、そして主役になるためにイエスが地球に転成してこられた。

◎パレスチナに住んでいたユダヤ人というのは、当時はローマ軍のためにひどい目に遭わされて、滅亡寸前にあった。西暦70年に完全にユダヤ人は全滅して、生き残った人は、海外に逃亡する。……ディアスポラ

◎スペース・ピープル側がプロジェクトを組んだときには、まさか張付けの刑にまでされるということにはスペース・ピープルも考えなかった。（スペース・ピープルは50年先まで見通すといわれている。）

◎地球人の一人一人のころ（マインド）の変化というものはひどいもの。地球人のころの変化というもののまではスペース・ピープルには分からない。だから地球人にうかうか正体を現わさない。

◎当時、宇宙的な一種のGAP活動のようなことをイエスが始めた。特にクムラン教団を主体にした、エッセネ派同胞団。この中にいた人達が今転生して2000年後このGAP会員の中に少なからず居られるはずです。

◎新約聖書というのは基督教会に都合のいいことばかり編纂されている。歪められたおおざっぱな内容。

◎細かいイエスの時代のことが書かれた本がある。――→外典、疑典

◎「ころは一つの結果」ころは人間の肉体の付随物。人間の手足と同じ。

◎霊===波動 ※万物に波動が宿っている。

◎「知るもの」===宇宙の意識

◎内部の意識はあらゆることを知っている。したがってころがそれに耳を傾ければいい。そうすれば一種の閃きによってこうすればよいというアイデアが出てくる。

↘ 内部の意識から来る印象

◎「自分自身を知れ。そうすればすべてが分かるだろう。」（古代ギリシャのデルフォイの神殿に刻まれてあった言葉）

◎ころというものは実にいい加減なもの。変化しやすく、昨日あることを信じていたら

今日は信じなくなるといふようなふうに変化する。自分のところだけに頼って、ところだけでものを考えていてもだめ。

◎内部の意識と一体化して、意識から来る印象を感じ取るには、心を静めて考えるのを止めて、そして内部から来る印象をじーっと閃きが来るのを待つという態度。

◎地球上の空間に共通した知識の流れというものが流れている。または充満している。

◎地球人は恐怖に支配されている。恐怖心があるから人間同志が争い、国家同士が戦争をやる。

◎恐怖心を起こすのは当前だとだれしも思っている。われわれは潜在意識の底の底まで恐怖というバイキンがこびりついている。恐怖の原因である物が地球上に充満している。

◎恐怖は宇宙的に言って存在しない。

◎「恐怖心そのものの意外に、恐怖すべきものは存在しない。」

◎意識が心に何を成すかではなく、心が意識に何を成しえるかが問題である。」

◎中心のバランス……… 意識と心の一体化のバランス

◎心というのは世間の雑事しか知らない。心は千差万別。（価値観が違う）

◎苦しい結果をもたらされると心は反省するようになる。

→「心の意志」

◎「幼子のようになれ」ということは子供のように無邪気になれということよりも、むしろ純粹になって疑わないで、すべて自分の心で取り入れて、それを応用せよといっている。

◎超能力者というのは内部の意識と自分の心がある程度接点を持っている人が多い。

◎ウルフ・メッシング ロシア スターリン時代の超能力者

質問

恐怖が心の主人となっていて、何らかの形で地球上のほとんどあらゆる人を支配しています
(36P) あなたはどのように恐怖に向かい合っていますか。

レクチャー3 宇宙の法則の応用

96・4・21
41P～46P

◎小乗的にせめて自分自身だけでも精神改造して向上していこうとそれが周囲の人に影響を及ぼせばよい。

◎転生するのに私たちは出来るだけ良い世界に転生し、生まれ変らなければ損。そのために今生において、私たちは少しでも自分の精神性を高めておかないと、この世界を卒業したという状態まで行かないとよいところに転生できない。

◎良き転生をするためにも私たちはこういう宇宙の法則を研究し実践している。

◎神も仏はある。本人が見付けられないだけの話であって、見付けるように自分で努力しなくちゃいけない。

◎神や仏は自分の体の中にいる。ものすごい力、英知が充満していて与えられている。

◎自由意志は素晴らしい。人間が神のようになることも出来れば、全くの悪魔になることも出来る。

◎自由意志とはやりたい放題のことをやるのが自由意志じゃない。自分がどうすれば人のために役立つか社会のために役に立つかということを考えて、自分の知力と体力を応用するのが自由意志です。

◎意識というのは人間の体を生かすのにテレビの電波と同じように、意識というものがなくなったら全く体が生きない。意識というのは言い換えれば生命力。

◎生命力というのは物理的に測定できないものですから、だれでも生命力があることは知っていますが、医学大辞典に生命という項目がない。生命というのは医学の研究の対象外になっている。

◎今の医学は物質主義的にやっているということから、ホリスティックな医学つまり肉体も生命も全部ひっくるめて考える全体的な医学というものが次第に起こりつつある。そのため医者の中でもアダムスキーの本を読んだり生命の科学を読んだりしておられる方が少なからずいる。

◎目、耳、鼻、口（視覚、聴覚、嗅覚、味覚）これが人間をほとんど左右していて、地球人はこの四つの感覚器官に振り回されている。そしてこの四つの感覚器官によって心というものが形成される。

◎問題は四つの感覚器官を完全に調和させたときに、初めて内部の意識から来る印象が自分のマインドにはっきりと感じられるということです。テレパシー能力が出てくるということです。

◎心の意志の代わりに意識の意志である『神の意志』の指導としてやってくる印象類を応用する方法をエゴは知らねばなりません。

◎心の意志が意識の意志に従うとは、無茶にやろうとする子供が、分別のある親の意見に従うのと同じこと。

◎意識の意志は自分を押し付けはしない。ただ正しい印象を与えてくれるだけ。意識の意志の表現は親切で豊かで美しい方向に行かせようとする。

◎エゴの意志は攻撃的で威張っていて自己中心的です。宇宙の意識の意志は恐怖を知りませんが、エゴ（人間の心）の意志は生活すべてを通じて恐怖し、多くの過失を犯します。

◎人間というのは宇宙そのもの。宇宙というのは人間そのもの。人間というのは他の動物とは根本的に違った創造のされ方、作り方をされていると見えて、人間は自分自身が宇宙だということを考えることができるわけです。考えることができるなら即人間は宇宙そのものだというわけです。

◎宇宙というのは大変に広大な広いものだということはない。宇宙は一つの始まりがあって一つの終があるのは間違い。『宇宙というのは一つの始まりと終』が宇宙だ。宇宙は永遠。

◎考えるのを止めて、内部から来る印象を待てば本当の回答が出てくる。

◎エゴは楽しい調和ある状態にあるならば、食物は肉体にとって有益になります。

◎肉体の機能を支持する宇宙的なもの……自律神経など

◎人間は恐怖から何とか逃れようとしてかえってエゴに走る。

質問

◆調和ある生活を楽しもうとすれば、心の意志は意識の意志に従う必要があります。（44 P）

意識の意志に従うために日頃考えていることは何ですか。

レクチャー3 宇宙の法則の応用

96・5・19
46P～53P

◎来世紀の日本人は、英語ができないとやっていけないという時代が必ず来る。日本人の意識、学問体系も変わる。

◎パソコンなどの機械を用いた連絡網は限界が来る。テレパシーを応用する時代。（来世紀の中頃以降）

◎私たちは単なる超能力開発ではなくて、その超能力を出すための基本的な人間形成というようなものを目指す。

◎日本政府の科学技術庁が超能力を本格的に研究してゆくというプロジェクトが予算1億円で始まる。

◎ソニーでは数年前から社内に超能力研究開発をやって、そしてかなりの成果を上げているエスパー研究室。

◎敏感な人間になること。鈍感で知識さえあればいいという時代ではない。それから、英語を勉強する必要がある。*

◎意識…………… 人体を生かす根源的な生命。

◎Guide Posts（指標）…………… イエスの教えを实践すれば奇跡が起こるという雑誌

◎赤ん坊というのは純粹そのもの。怒鳴ったり、叱ったりするのは恐怖心を植えつけることになる。

◎意識は恐怖を知らない。内部の生命は恐怖を知らない。

◎意識はあらゆる知識を持っている。しかし心は非常に知識の乏しいものであって、心は人体に付随する付随物であって、肉体が滅んだら心もなくなる。しかし、肉体を形成した意識は別のほうへ行って、新しい赤ん坊の中へ入ってまた新しい肉体を支えていく。

◎地球人の心はまだ非常に未発達の状態、恐怖に満ちている。したがってその心で判断するために判断を誤る。

◎心を静めて内部の意識から沸き起こる内部の知識を感じるようにすれば的確な正しい解答が得られる。……………テレパシーの原理

◎「英語 超 独学法」 吉ゆうそう著 南雲堂 1500円

◎テレパシクになると素晴らしいいい物が見付かる。

◎「意識による生活を過ごすこと」これに尽きます。

◎いつも今自分はテレパシー能力が起こってくるんだとも思い続ける。あるいは更に自分がすごいテレパシー能力者になってあらゆる外部の波動をキャッチすることのできる人間になったイメージを描く。

◎法則の両面……客観と主観、陰と陽、女性と男性。

◎知的な巨人……知識だけが巨大化して、自分の内部に宿る宇宙に意識である創造主を感じる力がない。

◎「あなたの細胞の神秘的な力」 ロバート・B・ストーン著 祥伝社 1900円

◎自然界、地球自体は万物を生み出した母性原理を表わす。至上なる英知は男性面。これが宇宙の意識、創造主。

◎生命体の90%は意識の直接指導の法則によって支配されています。

◎私たちは先ず自然界を見つめて、自然界の動植物がいかに整然と生かされているかということか、地球人は自然から学ぼうとしていない。

◎自分の心の代わりに意識を自己の指導者にすべきです。

◎人間の言動によって上品、下品が分かる。だから人間の言動、言葉、行ないは非常にこれは重要です。そうした面での誤りに気付いて、それを改めなければいけない。人間の大きな特権でもあり、人間自身の優れた点でもある。

質問

◆進化した異星人が、たとえ人間だろうが他の動物だろうが、とにかく一つの生物を見るときは、その外形だけ見ないでそれを支えている意識を見る。(46P)

異星人がどんなふうに見ているか感じてみましょう。

◆人間にとって唯一の救いは自然の指導のもと帰ることにあります。(52P)
自然の指導を考へてみましょう。

レクチャー3 宇宙の法則の応用

96・6・22
53P~67P

◎月例セミナー今月で314回。昭和44年7月東京移住。(1969年)~27年経過
この年の9月から池袋区民センターでセミナー開始(5年間)。上野公園文化会館(16年
間)。6年前に現会館。27年間毎月月例会。久保田先生が休んだのは3回。今後30年、
100才までは現役で月例セミナーを行なう。

◎正心長息法===大宇宙思念法

◎砂というのは何でもないようですが、やはり砂として存在すべき目的があって創造主から
創造された。

◎バーバンクというひとほど大自然に溶け込んで、大自然の作物や、植物と一体化した人は
そういない。

◎植物はこちらから話し掛ければ必ず何らかの形で答えてくれる。

◎バーバンクは一種の超能力者。肉体の遺伝的なもの。先祖代々伝わっている高次元な流れ
超能力のある人、精神的に優れた人は家系に何かある。

◎意識の指導………印象という形で自分の心に伝えてくれる。

◎何かの精神的な苦しみから逃れようと思えば、外部の人に頼ってはあまり良くない。内部
から来る印象に従う。

◎来世紀になってから日本人の国語は英語に成る。だんだん英語というのが主体になってく
る。それはなぜかというインターネットという世界的な通信網が発達してきて、とにかく
外国との連絡には英語を知ってなければ連絡できなくなる。

◎自分に内部に宇宙の創造主がそのまま中に納まっているんだという、そういうことを知っ
て、気付いて、それからその内部から最高の教えが印象としてきているということを知って
そのために自分で心を澄まして、心を静めさせて、内部の意識の印象をジーンと待つ。

◎創造主は創造主よりも劣るものを創造することは出来ない。

◎心が美しいと顔付き、身体も美しくなる。

◎よい惑星に転生するような人はマインドが高度に成ってくる。地球上の人達はマインドを
コントロール出来なくて、悩みを起こしたり、悲しんだり、怒ったりするそのマインドは要
するに子供。子供は親に従わなくちゃいけない。

◎マインドが自分の意識を親と見てそれになついて、意識の方にしがみつく。そういう状態にせよとアダムスキーは伝えている。

◎私たちは次元の低い人を軽蔑してはいけませんが、その人のマインドはまだ非常に程度が低いですから、必ずしもそれに同調するわけには行かない。それよりもマインドの発達の高い人、出来るだけ人格の高潔な人に接するようにしておけばそれだけ大きな影響を受ける

◎来世紀はテレパシー遠隔透視というような、いわゆる超能力、テレパシクな感覚を持ちえないとやっていけないという時代が来る。

◎来世紀の中頃以降異星人との交流が始まる。

レクチャー４ 万物の相互関係

◎万物はすべて波動

◎DNAは創造主そのものの細胞の中のDNAがいよいよ基本の生命の描かれた青写真ものすごい知性を持ったもの。

◎細胞は自分の想念によってどうにでも成る。怒りの想念を起こせば細胞群がものすごい騒ぎを起こす。

◎われわれは想念波動を非常に宇宙的な穏やかな調和的な想念にしくっちゃダメ。

◎「あなたの細胞の神秘的な力」のマインドスピーク

あなたの細胞と対話する方法…… 身体をすごく健康にするために呼吸法、イメージ法。

◎「超能力面白実験室」 秋山真人著

◎「マックス アウレリアスの自省論」 岩波文庫 480円

7章15節「だれが何をしようと言おうと私は善人であらねばならない。それはあたかも金かエメラルドか紫貝が口癖のようにこういつていたとするのと同じだ。誰が何をしようと言おうと私はエメラルドでなくてはならない。私の色を保ってなくてはならない。

質問

◆優れた性質の音楽に留意するのと同様にあなたの心をよりすぐれた性質の生命体に向けるようにしなさい。(56P) 日頃どのように心掛けていますか。

レクチャー4 万物の相互関係

96・7・20
67P～72P

◎UFOは依然として出現しつつある。

◎時々空を見上げると何か目に付くかもしれない。夜の星なんかは実にきれいにそれを見ただけでも非常に雄大な宇宙的な想念が起こってきます。

◎来世紀になると学問としての別な惑星の実態が取り上げられて、天文学が全部塗り替えられます。そしてUFOと言われたものが、実はすごい宇宙船だったというのが分かって、その推進方法が研究されるようになる。重力場推進方式というものが画期的な一種の動力またはエンジンとして一般で用いられるように必すなる。

◎記憶というものが人間の根本的な重要な要素

◎中学程度の英語を身に着ければ、国連の大使がやれる。

◎忘れるということは最大の罪

◎人間は過去の記憶を保っていてそれを思い出すことによって進歩する。

◎金星は試験など何もありやしない。年齢、性別、一切問わない。学校があるんですが、自分が何かこういう方面のことを勉強したいなと思ったらいつ行っても構わない。即座にその場で先生が指導して教えてくれる。

◎体の内部に非常に素晴らしい超精密な各器官に対して思いを馳せて、感謝の想念を送らなくちゃいけない。

◎生まれつきの性質……………カルマ

◎英知……………何でもあらゆることを知っていて、自分の過去を全部記憶している宇宙の意識

◎自分自身を知れ……………内部にある本当のあらゆる記憶を保っている実体があることを知れ

◎何を見ても、自分が人を見ても、無生物を見てもそれはすなわち自分自身なのだという感覚を起こす……………最高の真理

◎自分とは宇宙そのものだ。宇宙とは自分自身だというこの雄大なフィーリングを起こすことが人間にとって最高のフィーリング……………万物一体感の極致

◎自分がとにかく善かれ悪しかれ想念波動は宇宙空間を限りなく進行して行く。だからいい加減な想念を起こすことは出来ない。

◎低い段階の生命現象……………動物の弱肉強食

◎妻メリーさんと母船の中であったときの詳しい状況が他の記録であります。

◎地球人は心をメチャクチャに使っている。

◎めい想、大宇宙思念法をやる。あるいはまた、時々心を切り替える訓練する方法を自分で実践する。全然やらないでいたらだめ。自己修練をやる。

◎「超能力と人体の不思議関係」 秋山真人著 勇鶏社

◎「愛の名言集」 ジョセフ・マーフィー

◎アダムスキーの本は基本的な教科書。これを基本にされまして、さらにもっといろんな精神世界探究の本を読んで、更に自分のパワー高められますと、素晴らしい人生が展開するでしょう。

質問

◆心が調和的な穏やかな状態を保とうとすれば人体内で起こる物事のすべてを知ることが心の義務であり特権であるのです。(68P)

心の義務と特権を考えてみましょう。

◆観察される固体があたかも自分であるかのようにその固体について意識的になるのです。(69P)

あなたのこのような体験を思い出して下さい。

レクチャー5 意識、英知、生命力 $\frac{96}{78}P \sim \frac{9}{86}P$

◎スペース・ピープルは日本人全体の平和主義の想念を非常に高く評価しておられて、日本人の2割の人が世界に向かって平和の想念を放射すれば、世界は確実に平和になると言っておられる。

◎宇宙空間でからっぽのように見える空間は実はものすごいいろんな物質が充満している。

◎私たちの銀河系は10万光年。宇宙空間の銀河系は一千億個（パロマー天文台の望遠鏡で探知した数。）

◎宇宙空間はどこまで行っても惑星には地球の人間と同じようなほ乳動物が住んでいる。つまり人間がどこまで行ってもいる。

◎宇宙の広大さは計り知れないものがある。宇宙空間を見てその無限さを感じる。

◎意識によって解答が内部から沸き起こってきた……テレパシクな印象

意識……人間を生かしている生命力の根源なるもの（魂）

人間を生かすエネルギーの原動力（生命）

潜在意識⇒⇒⇒顕在意識

◎体全身を生かしているものすごい生命力は意識的なもの。外界の何かに気付くような状態で内部にある。

◎心は意識のうえに重なってある。あるいは肉体に付随するもの。心は肉体の一器官

◎人間は創造主の分身

◎スペース・ピープルとコンタクトするような人は、よくめを開けても四角いスクリーンが目の前に出現して、そうして、そのなかにスペース・ピープルから送られてくるいろんな画像を見ることがある。

◎心霊的なテレパシーは外部から来るんじゃなくて、自分の内部の細胞の一部から来るメッセージ

◎スペース・ピープルは東京都内でもかなり歩いたり、住んでいて適当な仕事に就いておられることがある。久保田先生は時々見かけるが全く地球人と変わらない。ただし、テレパシーと遠隔透視の力はものすごい。

◎啓示（閃き）が来るとき、静かにそっと与えられる。

◎「他人からしてもらいたいと思うことを他人にもせよ」……率先して自分から親切な事を
しなくちゃいけない

◎「過失を分析して訂正する」何か自分が過失を認めたならば、それを隠そうとしないで、
自分自身で先ず認めて、そうしてそれをどんどん直していく。奏しないと自分自身の本当の
進歩がない。

◎人間の心というのは樂をしよう樂をしようとする。これでは進歩がない。

◎同質結集の法則：同じような質の人が仲良くして集まりたがる。（類をもって集まる）

◎感謝の想念は平安な心ですから、平安な心を起こせば、それなりの良いホルモンの物質が
頭の中にできて、それが良い影響を与える。

◎自分が捜し求めているものは実は自分の「半身」-----→アダムスキーが宇宙の意識とい
う全身を生かす魂

◎何か自分で一つの物事、困難なことを、それを成し遂げようとするれば、既に実現してしま
った、自分がもうやってしまったというイメージをハッキリ描く。自分は成功した成功した
という喜びの感情を起こして、イメージを描きながら物事をやっていきますと、必ず成功す
る。イメージ通りに現れてくる。

◎心だけで考えてもなかなか解決が見つからない。内部から来る意識、意識から来る印象（ひら
めき）を聞くようにする。本当の解答が与えられる。

質問

◆「他人からしてもらいたいと思う事を他人にせよ」（８１Ｐ）

このことで少し考えてみましょう。

◆訂正されない過失が他の過失と対立する場合、けっして解決されない謎が生じます。

解決されない謎を地球上で起こっている具体例で考えてみましょう。（８２Ｐ）

レクチャー6 新鮮な想念で 人体は若返る

87P～93P

96.10.27

◎このアダムスキー哲学は絶対ですからね、これを自分で実践されますならば、必ず良いことになります。その例はずいぶんある。ミラクルワード、ミラクルイメージ。実践者がおられるわけですから、そういう方々を模範とされまして、アダムスキー哲学を自分の生活を向上させるためのすばらしい哲学であるということをこの際改めて認識していただければと思います。

◎今は精神身体医学がだいぶ発達しまして、アダムスキーが「新鮮な想念で人体は若返る」と言っております理論はホリスティック医学というので取り上げられるようになってきた。

◎ホリスティック医学 ----- 精神と肉体をいっしょくたにして考えようというような医学

◎「ホリスティック医学の治癒力」 帯津良一著（精神的面から本人を元気づけて難病を治すという指導をなっさている。）

◎このごろ書店へいきますと、精神的に病気を治す。イメージを描けば病気が治るとか願望が実現するというような本がいろいろでてきてまして、アダムスキーの理論は本当に一般に認められて常識化してきたというような状態でしたね。

◎明らかに人間の精神は肉体に非常に大きな影響を与えています。

◎入院患者で早く治る人は非常に心の明るい人、よく笑う人、快活な人。それがこの頃わかってきたのがホリスティック医学です。

◎人間の体はみんな波動があるんです。もちろん電子の固まりですから振動していますけどね、それとはまた別な意味で波動の元に生きているんですが、地球の波動というのはものすごく程度が低い、低周波というんですかね、そのために細胞があまり長持ちしないんですね。

◎人間の細胞が心に関係してそれに服従している ----- 自分の怒りやすい心あるいは憎しみの心を起こしやすい心、そういうのものに服従して、心が怒りだしたらそれにつれて暴れ出すような細胞がある。というような意味。

◎偉大な先駆者が新しい思想を持ってでてきて大衆によい影響を与えるということは、これは単なる物珍しさじゃなくて、我々もすぐそういう人に目を付けて、何かそれから学び取るような態度を持つことが随分必要だと思います。

◎新鮮さは進歩であるばかりでなく、若さでもあります。新鮮ということはいつも新しい

ということですから、それが肉体に影響を及ぼせば肉体はいつも新しい。言い換えれば若々しい。

◎人間とは想念によってどうにでもなるものだということを肝に銘じておく必要があると思うんです。人間とは活動する想念以外の何物でもありません。人間とは想念体なんですね。

◎イデア論によって言ったことは人間の体は完璧なある一つの元の形があるんだと、一つのパターン（原図）がある。その原図に従って人間の体はどんどん人間らしく形成されていく。元の人間の原図があってそれが体の中に投影されているからだと言うことをプラトンが言ったわけです。このことをアダムスキーもここで言ってますね。「想念による原型を持つ必要があったのです。」

◎完璧な健康体の原図があるんですから、それをはっきり自分で内部で描いて、心の中で描いて、この通りになるんだなるんだと思ってりゃ体が少しずつそのように変化して、完璧な体になってくるはずなんです。そうなるために自分の心という物が与えられているんです。

◎新鮮さということは年をとらないという考えが金星人にはあるらしいです。

◎「新鮮な想念によって我々が望むような結果を得ようとすれば、その新鮮な想念を最重要視し、これと対抗的な想念と混ぜてはなりません。」つまり新鮮な想念に対抗する、古くさい想念ですね。これを混ぜてはいけません。

◎大自然界はすべて宇宙の創造主の意志にゆだねてしまっていてそれによって生きてるだけです。自分の意志はありません。

◎金星人や進化した惑星の人たちは、地球へやってきて地球人をみる場合も絶対に軽蔑をしないで、地球人の奥底に潜んでいる神聖、これをみるようにしている。我々もそのようにやりゃいいんです。他人を創造主の子としてお互いに尊敬しあい、お互いに礼拝しあうというのが一番いいんですが、なかなかそうはいきませんです。

◎アダムスキーの生命の科学は最高の一種の理論を唱えていると思うんですが、それはわかるんですが、実践が難しいですから、これをほんの少しでも実践してですね、そして自分自身が宇宙の方向へ行くというふうになりたいもんですね。

質問

◆新鮮さは進歩であるばかりでなく若さでもあります。(88P)

あなたが知る身近で若く感じられる人の話を聞かせてください。

レクチャー6 新鮮な想念で 人体は若返る

92P~100P

96・11・24

◎カルマ……因果の法則、原因と結果の法則 カルマン（古代インド哲学の文語体を使う言葉）

◎良いことをすればこの次の生涯は恵まれた生涯を与えられる。悪いことをすればまたそれを反省するための悪い生涯を与えられる。というようなそういう因果関係で私たちはずっと生きているんだと言うことになるようです。

◎人間と自然の間の唯一の相違は、自然は自信の意志を持たないということです。人間が自由意志的な心を与えられた理由は、人間が生活の方法と目的を『至上なる英知』から学び取るかもしれないという点にあります。

◎『至上なる英知』=『全包容的な英知』=『神』=『創造主』

◎人間には創造主のようになる可能性を与えられていて、イエスが言ったように「私と父は一体である」のです。人間は限りなく精神的に向上していきまして、そうして創造主のようになる。限りなくその近くまでいける。そのために自分で考える力が必要ですから、したがって考えるための心を与えられている。

◎内界（Inner World）、外界（Outer World）

自分の内界に心という物が存在することを私たちは別にふつう何とも思わないんですが、しかし、この心という物の用い方というのは最も重要ですから、これにうんと気を付けなくちゃいけないんですが、なぜかそういう教育があんまり行われていません。どっちかというとい体の鍛練の方が教育されているんです。

◎あなたは方人を見るとき創造主を見ているわけです。

◎「自分の心を内部の意識の指導にゆだねる」

大宇宙全体を宇宙の意識という一つの意識があって、（これがあらゆる物を人間おろかほかの動植物全部を生かしている）自分の内部の意識から印象がくるんです。絶対に正しい印象が時々くるんです。心を静めて無色透明にする。つまり考えることをやめる。そうすると内部の意識から本当の警告または知識が与えられます。（声なき声）

◎銀河系の端から端までは10万光年。そんな銀河がこの宇宙には無数にある。

宇宙は一つの法則によって造られている。宇宙には一つの創造主によって何か共通した意志が全宇宙に行き届いている。

◎内部の宇宙の意識、宇宙の魂は宇宙全体のことまで何でも知っているんですが、それに耳を傾けようとしない限り、心だけではやっていけない。

◎自分の生命を捨てるということは、心をあっさりとも内部の宇宙の魂に譲り渡してしまえ
ということイエスは言っている。

◎放蕩息子の物語（ルカ第15章13節）：どんな悪いことをしても反省をすればそれを許
すべきだという教訓。私たちのふつうのマインドつまり心は放蕩息子みたいにグラグラ揺
れ動いて、てんで勝手なことをやっているわけです。だが、ある日突然、自分は間違っ
ていたと気がついて内部の自分の本当の家（宇宙の魂）、そこへ帰っていけば、いつでも宇宙
の魂は喜んで迎えてくれる。

◎本当の意味での宇宙的な生まれ変わりというのは心を新生させて個人が新たに生まれか
わることを意味します。

自我のプライド(自尊心)を死滅させて、謙虚さと『意識の意志』

の中に生まれ変わいなさい！

◎あらゆる人を尊敬する。

◎泥棒を防ぐにはどうすればよいか：目に見えない防壁を築く。（自分の住んでいる家は創
造主が住んでいる家だから、絶対誰も悪い物は入らないという強烈な信念を持って、その
想念波動を自分のアパートの中に放射する。）

◎英語学習はいつからというふに決めたらダメなんです。今だ！ と思わないとダメなん
ですね。これが秘訣です。

質問

◆あらゆる生命体や、個体を作り上げているあらゆる細胞の中に現れてる『神』を見るように
自分の心を仕向けなさい。(98P)

あなたの心が感じた細胞の中に現れている『神』を思い出してください。

◆われわれは他人にたいして正直で誠実である得る前に、自己の良き自我にたいして正直
で誠実であらねばなりません。他の意識的実体が自分を信用してくれることを期待しよう
と思えば、自己の意識をまず信用しなければなりません。(100P)

この新しい生き方をするには、不動の信念と忍耐力とを持って耐える必要があるそうで
すが、実際にそんな局面がありますか。

レクチャー 7 宇宙的記憶

101P～ 117P

96.12.22

◎アダムスキーがコンタクトした地点に調査に行きまして、四年前の二月の十七日ですか。何度も行きて、あそこでUFOが出現したことがその前からあるんです。ですが九十二年二月に行きましたときは突然巨大な母船が現れて、西の方から東のアリゾナ州の方に向かって、ゆっくりと飛んだんですね。これはものすごい光景でして、私は双眼鏡で見ました。全然翼もなにもないのっぺらぼうのちょうど葉巻型ですね。中心部よりちょっと後ろの方に黒い筋がありまして、あとは全部真っ白です。窓もなんにも見えなかったですね。そして尾部の所にちょっとオレンジ色の光が光っていましたが、これは点滅しません。

確実な情報ですが、これは金星から来た母船であって、この中にたくさんの人が（金星人）乗っていたけれども特にその中で七名だけの人がこの母船から地上の我々を見おろしていたんだそうです。その七人の中に一人、金星人に転生したアダムスキーがいたそうです。

◎1963年に亡くなったケネディー大統領。あれはじつはドイツに少年として生まれ変わったということのある超心理学の学者の人が徹底的に研究して間違いないという結果を出したんだそうです。

◎サンデー毎日「死後の世界研究第2部人間は生まれ変わる。学者たちが語るその理由」

◎COSMIC MEMORY 「宇宙的記憶」

◎宇宙的記憶というのは自分の遠い過去生のことが思い出されてくるというようなそんな記憶です。誰でも転生してるんです。それは全部思い出せるはずなんです、なかなか地球は波動が低いですらね、我々の肉体の波動も低いものですからなかなか思い出せません。ですがそれはできるんです。

◎私たちの内部に永久に自分自身の実体として残っていく実体がある……宇宙の意識

◎宇宙空間のどんな銀河系でも一つの法則で造られている。

◎自分の内部の意識と一体化……自分がジーンと正座して心を静めます。全く無念無想の状態になって、考えることを全くやめる。魂というものと自分とが自分とは魂そのものだ、そういう感覚を起こす。自分の魂と宇宙全体の魂と同じだということふなそういうフィーリングを起こします。

◎考えると言うよりも感覚を起こすんですね。そうすると自分がテレパシフィックになってきて、過去生が見えてきたり未来が予知できたりする訳なんです。

- ◎意識による知覚力を高めよ・・・自分のテレパシー能力を拡大せよ
- ◎心は拡張しません。ただ考える能力があるだけです。意識は無限に拡張できる。(過去生透視、未来予知)
- ◎動物は自然と一体化している。
- ◎アダムスキーは事前に予知する能力があった。1952. 11. 20にアダムスキーがデザートセンターの砂漠に円盤が着陸するということは何かの方法で彼が予知していたからあそこに行ったんだろうと思うんです。
- ◎あの体験記は今全集の第一巻にでていますが、原書から克明に読んでみますと、間を抜かしたような飛ばしたような、何かを隠したような書き方をしているところが多いんです。
- ◎「自分の（個人の）生命を失う者は永遠の生命を見いだすだろう」……自分のエゴをなくしたものは永遠の生命（宇宙的な生命）を見いだすだろう。
- ◎自分の中に神がおる訳です。それと一体化して二つを混和させなさい。
- ◎あなたを混乱させるような多くの主義・主張にとらわれないようにしなさい。
- ◎植物には意識がある。
- ◎アダムスキーは土星の母船の中で非常に珍しい物があつたので、好奇心に駆られていろいろ質問しようとしたけれども、しかしそうゆうことをしちゃいけないと、好奇心を起こすということは自分の感覚器官つまりマインドによってそうゆう好奇心を起こす、つまりエゴの心が起こる訳ですからそれはいけないんだと、質問は全くしないでただその中に乗って、船体と自分とが一体だというようなフィーリングを起こし続けていた。
- ◎常識は非常識だ。昔のことを金科玉条にしては新しいことは生まれない。常に新しいことを自分で求めて研究する。

質問

◆心というものは、変動してやまない束の間の諸現象に頼っているのであり、特に「ほとんど価値のない」と自我が感じるような重要でない物事に執着しがります。(101P)

あなたにとって本当は価値のない執着をチェックしてみましょう。

◆創造主としての「宇宙の意識」を意識していますか？ (111P)

レクチャー 8 宇宙の一体性

119P ~ 134P

97. 1. 26

◎このごろはいろんな情報が入ってきまして、またUFO問題であちこちの出版社、つまりマスコミから取材にこられます。なにかUFO問題が相当表面化しつつあるということを感じます。

◎このごろは第三次UFOブームが起こりかけてきたんです。そのためにボーダーランドという専門の雑誌ができたわけですね。

◎今世紀末、または来世紀はじめ頃に本物の宇宙船が大挙して地球へやって来るという情報があります。もう地球人は昔のように UFO というものを怖がらなくなったことと、どうもあれは宇宙から来るんじゃないかということが一般人がよくそういうことを認識するようになってきたもので、そこでそういう機運が生じてきたから大挙して円盤なり母船なりがくるんだと聞いています。

◎ノストラダムスの非常に有名な予言として、1999年の七の月に恐怖の大王が空から降って来るというところがあります。大宇宙船の大群が地球へいよいよ本格的に訪れてくることを意味するんだというような情報もある。ノストラダムスは昔のコンタクティーだったという情報もあります。

◎巨大地震は人間の想念波動が結集して大地に影響を与え、そのため大地が動くんだと言われております。地球だって生き物ですからね。ですから我々人間はみんなよい想念を持って自然の大災害を起こさないために特に大自然を愛する想念ですね、それがが必要です。

◎因……この万物を全部生かしている原因である元のもの（宇宙の創造主）

◎人間あるいは万物を生かしている意識的な実体がある。宇宙全体が一つの意識体。アダムスキーはこれを宇宙の意識と言ってる。（宇宙の魂）

◎できる限り、どんな人を見ても、なにを見てもあれは創造主の現れだ。これは宇宙の魂の現れだというふに知覚するように見れば、その人はものすごい幸せになります。なぜならばそういう超高度な細胞の想念を持っておれば、それに同調してよいことが来るんです。

◎創造主……知性を持つエネルギー体（人間の形として表せません）

◎宇宙という意識体には時間というものの関係はないようです。スペースピープルはそういう年月の経過という概念がないものですから、従ってその概念で生きる限り長生きするわけです。その想念が肉体に影響を及ぼしますからね。

◎自分の心の持ち方次第でどうにでもなるもんだ。「私はいつどこにいても楽しいところにしかない」そうすれば実際に自分の周りが楽しくなって来ると思うんです。

◎「私は健康、無限に健康、絶対健康」「私は完全、無限に完全、絶対完全」

◎恐怖心をなくす支柱……自分の体を生かしている宇宙の魂、宇宙の意識つまり創造主というものなんです。これが自分の体の中を一本貫いている。全身に満ちている。

◎恐怖心を起こさないよう……自分はどこにいても楽しいことしかない。うれしいことし
にするための方法 かないんだというようなそういう想念を絶えず持ち続ける
とこれは最高にいいですね。

◎あなたが体験するかもしれない各種の感じによって迷ってはいけません。まぜなら、実は
肉体や脳の中の無数の細胞はこれまでなすべき仕事が多かったのです。それらは冬眠してい
たのであって、利用されるのを待っていたのです。

◎異星人は地球人に恐怖心を与えるようなメッセージは絶対によこしません。

◎「自分自身を知れ。そうすればすべてがわかるだろう」古代ギリシャのデルフォイの神殿
の扉に刻まれていた言葉

◎人間は何物も所有しない。しかし意識を所有する。

◎手のひらで波動を感じる感覚を高めると、今度は水晶とかその他高価な宝石そういうも
のを置いといて、そいでその上に手をかざしますと、そこから来る波動を感じられます。(紫
水晶、ラピスラズリーは波動がいい)

質問

◆私自身が各部分の一部であるかのごとき感じが起こり、私の目的が他との協力にあるのだ
と感じたのです。(120P)

言い換えれば、私は、自分が意識的に理解したいと思った部分が意識によって作られてい
ることに気づくことによって、私自身がその部分になったわけです。(121P)

アダムスキーが母船の内部で感じたものですが、あなたがこれと共通したと思う感じを思
い出してみましょう。

◆意識は生命の海ですから万物はその内部で生きています。(126P)

「意識は生命の海」の言葉から感じることは何でしょうか

レクチャー9 宇宙的細胞と 肉体細胞の活動

135P～145P

97/2/22

◎一月の月例セミナーでは、テレビ局から取材に見えてらっしゃいます。衛星放送のモンド21という279chですね。放映は一月二十四日、夜十一時からです。

◎宇宙空間は生きた細胞の集合体……原始やその構成物質の素粒子などそういうものを意味する。それも細胞の一種。何となれば意識を持っているから。

◎宇宙空間というのはなにもない空っぽじゃなくて、物質の固まりといってもいい。物質は意識を持っている。原子は生き物。単なる物質じゃない。

◎センスマインド……感覚器官で形成される心（我々が普通にいう心）

◎人間の身体の細胞は宇宙的な正しい細胞と、人間の心でゆがめてしまった悪魔細胞。この二つに分かれてその二つが体を形成している。

◎創造主の感覚を帯びた宇宙的な細胞。これらが体を整然と機能させている。

◎習慣細胞を消そうと思えば、強烈な自分の意志の力で押さえつけないとダメですね。

◎外来細胞：自分の曲がった心で作りに上げる細胞（ガン細胞と異なるものではない）

◎ときどきあなたは高い発達を遂げた人と接触することが必要です。環境が人間の発達に大きな影響を及ぼすからです。

◎塩谷先生は強烈な信念で正心調息法を大宇宙の無限の生命エネルギーが自分の体に充満するんだという、そういうイメージを起こして行われる。

◎自分は創造主の子であって、完全な実体なのだというそういう想念を極力起こし続けないとダメです。そのために一種の瞑想、思念法をやる必要があります。（大宇宙思念法）

◎宇宙の意識これがいわば神、あるいは創造主、または造物主。これが宇宙全体を支配して、宇宙全体を支えている根元なるもの……宇宙全体は一個の意識体で最高の巨大な生き物だと見ることになります。

◎意識が完璧な宇宙的な完全なものを作り出す原動力であるのだから、自分の持っている心もそのようになるように願いたい。自分の心も神と同じような次元にまで昇らせたいという意欲が誰にもあるはずだ。

◎自分が宇宙的なことばかりを考えていれば、低俗なことに巻き込まれることはない。

◎心がその印象に気づくようになる唯一の時は、自分自身に対する関心を捨てるときです。人間の私の心、エゴの心というのは宇宙的な印象を遮るわけです。だからエゴの心、そういう

う固い壁を取り除いてやらないと宇宙的な印象がなかなか感受できないです。

◎アポロ 9 号に乗ったラッセル・シュワイカートという宇宙飛行士がいた。彼は地球の数百キロ上空を飛んでいるときに流れる地球を見てものすごい神秘的な精神状態になった。眼下に見える地球はあれは自分自身なのだ。地球自体それから地球にある動植物その他のものみな自分自身なのだというような完全な一体感が起こったんだそうです。

◎アーウィン中佐は月面で UFO s を見た。

質問

◆異常な悪魔細胞を正常な宇宙的な細胞に変えるには、宇宙的な細胞の助けを借りて心が化学的な変化を起こさねばなりません。しかしこれは容易なことではありません。異常な細胞は習慣的に自分の権力を失いたくないからです。それで、時々あなたは高い発達を遂げた人と接触することが必要です。環境が人間の発達に大きな影響を及ぼすからです。(139P)

あなたに影響を与えた人を思いだしてください。

◆私は世の中のあらゆる面で異常な行為を無視せよというのではありません。現世の最低の表現から最高の表現に至る生命を知ろうと思えば、あらゆる行為を観察する必要があるからです。そのようにすれば我々は「動・反動」の法則、すなわち因果関係を観察しながら、人間のあらゆる行為に潜む因子を理解できるでしょう。(142P)

因果関係を知ることの重要性を考えてみましょう。

レクチャー9 宇宙的細胞と 肉体細胞の活動²

145P～162P

97/3/23

◎「信ずること」は生活で最も重要な要素です。

◎宇宙哲学的な思想を持つ人は全身の細胞は宇宙的な細胞が多い。物欲の強い人は自分が勝手に作り出した第二次の細胞、つまり物欲細胞(外来細胞)が多い……二種類の人間

◎人間は自分の思うとおりの者になる。

◎人間はいろんなタイプの人がありますが、それぞれ自分で何かを体験しながら、いろいろ遍歴していくわけで、人間は旅人だといえるでしょう。

◎自分の一定の家に住んで、一定の仕事に就きながら、しょっちゅう自分の感情が変わったりするでしょう？ こういう変化も人間の遍歴、すなわち、旅をしているんだといえるでしょう。

◎松尾芭蕉 奥の細道 「月日は百代のかきやくにして、行き交う人もまた旅人なり」

◎人間にとって唯一の必要なことは、現在人間が発している想念を直視して、それが宇宙の原理といかに異なっているかを調べることです。

◎この大宇宙には一つの意志がある。(意識)それが宇宙全体を支配し、生成発展させているんだ。人間の体はすべて宇宙の意志によって、あるいは意識によって、支配され生かされている。そして、宇宙の意志はあらゆるものを完璧な方向に生成発展させようとしていることは科学的に言うともわかります。

◎人間はどこかに完全さがあると感じています。……人間はそこはかとなく自分の内部で求めている。完全さを表す原型がある。

◎あらゆる物質も人間なら人間でも人間として完璧な完全な人間の姿というものはどこかにある。あるからこそ我々は完全な人間になろうという欲求を起こすわけです。完全な人間の原図は各人の頭の中にある。

◎完全なもののイメージを描くことが非常に重要……細胞がそれにつれて変化する

◎我々各人は「宇宙の意識」の中の単一細胞であり、われわれはひとたびこの意識と一体化するならば、必要な知識に対して制限はなくなる。

◎U-フコイダン……ワカメ、昆布。この中にある物質はガンに効く

デスベラトロール……ブドウの皮(赤ワイン) ※ワカメを魚にワインをちびちびやる

レクチャー10 意識による旅行

◎永遠に生きていく実体がある。ただし肉体は変化します。いつかはこの世を去っていく。そうするとどこかで転生します。転生して別な肉体を持ちますが、実体そのものはそのまま引き継がれて、別な肉体を持ってまた別な生涯を過ごすわけですね。人間は永遠に転生をします。……死というものに対する恐怖心が薄らいでいきます。

◎我々はどんなに苦しい生活でも最後に息の根が切れるまでは生涯でがんばらなくちゃいけないんだと言うことのようにです。

◎アカーシャ……空間に残る波動の世界

アカシックレコード……アカーシャに記録されたもの

◎聖骸布はものすごい本物。本物であるからこそあのカトリック内部でもものすごい大きな闘争が起ころうとしたもので、その争いを鎮めるためにわざと偽物だということで発表した。

◎自分が静かなところに腰をおろすかして、目をつむってどこか遠隔な遠いところを見ようという決意を起こして、今見えてくる見えてくるというふうに自分で欲求を高める。

◎英語の勉強で、音声だけ聞いたらなかなかわからないということが初めはあるでしょう。絶対に失望しないで、毎日同じ英語のテープを聴くんです。そうしますと二ヶ月ぐらいたったなら急にぱっとわかるようになってきます。突然。

質問

◆あなたの肉体は今生において二十年ないし九十年の記録を保つでしょうが、それは永遠の流れの中では一秒の千分の一ほどの時間でもありません。ところがあなたはこの地上の時間の毎秒を数えています。一方、毎秒刻々と何かのフォーム（形あるもの）が絶えず新生しているのです。（151P）

永遠の流れの中、自分の存在を考えてみましょう。

◆個性たる心は通常「楽をしよう」という傾向を有していて、世の中の環境という型にはめられます。だから人間は他人と同じ社会環境にあつてさえもその他人を別人と感じるわけです。（152P）

他人を別人と感じるのはどうしてでしょうか？ 本当の姿はどうあるべきでしょうか？

レクチャー11 宇宙空間の探検

163p～ 190p

97/4/27

◎GAP活動も36年になります。1961年から始めましたから、今年で36年ですね。会報を61年の9月から当初ガリ版で作りましたのは20部位。機関誌の第一号。

◎有名な女性政治家で加藤シズエ先生が百歳になられたそうで、百歳記念の記事がちょっとでておりました。百歳になるまでの長生きをした秘訣はなにかと聞かれて、三つほどあるんです。

①毎日一回は瞑想をし、心をきれいにする。

②毎日牛乳を三合ずつ飲む。

③毎日十回は何かで感動をする。

◎自分で感動を起こすようなことを自分でやればよい。自分で何か他人に何か親切なことを行っておれば自分が感動するんだと思います。

◎遠隔透視 (Clairvoyance), RV(Remote Visualizing)

◎これからは遠隔透視、テレパシーというようなものが来世紀に入ってからにはふつうに常識的に知られるようになりまして、これを開発しようという動きが強くなってくるはずですよ。

◎「新潮45」の中に、アメリカの科学者でコンピュータにも非常に詳しい人ですが、「インターネットは便所の落書きだ」という題で書いてます。インターネットは世界の距離が縮まるんですが、一方弊害も多いというので、結局これに変わるものとして、自分のテレパシーまたは遠隔透視で直接交流しようと、そうすれば盗聴されるおそれもないし、あるいはまた弊害のあるような通信内容も発することはできませんから、その方がよいんだという機運が来世紀から起こってくるらしんですね。

◎遠隔透視ですが、方法はアダムスキーが説いていますから、それをお読みになって、そうして自分で練習されるとよろしいかと思うんです。これは全く自分の練習にかかってます。練習の回数も多いほどよろしいです。回数と見えるようになる可能性は関数関係にある。

◎毎日少なくとも一回は遠隔透視の練習をする。それも雑多にあっちを見ようこっちを見ようというんじゃなくて、一つの何かの目標を決めといてそこを自分でいつもじーっと遠隔透視をやるといようなそういう目標を決めたやり方がいいです。

◎目をつむって額の内側に大きなスクリーンがあるというふに仮定しまして、そのスクリーンに画像が写って見えてくるというふようなそういう気持ちを起こすと良いんだそうです。ハッキリとスクリーンを設定しておいてそれに写ってくるというふような気持ち。

◎地球から土星まで九時間かかったと言ってますね、ものすごいスピードで行ったんでしょうが、行こうと思えば瞬時にしてでも行けるんだとアダムスキーは言ってますが、何か地球

人の考えるスピードというようなものの感覚で考えられないなにかのテレポテーション（瞬間移動）が起こるんでしょうね。

◎他人は必要なのである・・・万物一体感に徹して、一人でも欠けてはいけない。

◎男は地球人が聖母に抱いているのと同じ感情で女性を尊敬しています。婦人は男を等しく高く尊敬し、宇宙の原理の現れ、すなわち意識の男性的部分として男に名誉を与えています。そして男女とも各人の内部に宿る意識を「宇宙の神」として認めています。

◎事大主義・・・物事の変化につれて自分を変えていく ※自己保存のために、強大なものに従うこと。

◎霊界はない・・・人間は魂（意識）と肉体と二つの複合体です。さらにそれに心がありますから、強いて言えば三つの複合体。人間は肉体という物質的なものを持たないと自分がこの現実の世界で物事を体験する事ができない。だから人間が進歩するためには肉体は絶対に必要。

レクチャー 1 2 **たえまなき進歩の報い**

◎悪と見えるのは熟さない善にすぎない。実体は善

◎「動機」というものが自分を守ってくれて、そして自分を向上させる衛兵の役目をする。

◎自分のやってることは理解の目的を有する。自分は一つ理解をしよう分析していこうというふに考えていれば誰からなにを言われたっていっこうに心配する必要はない。

◎ジョセフ・マーフィー著 「あなたにも超能力がある」

◎ウエイン・ダイアー 著 「自分の中に奇跡が起こる」 三笠書房

◎大宇宙思念法は呼吸法でもありますんで、うんと息をすいますとね、多量の酸素をすことになります。これが大変に体にいい。

質問

◆あなたの遠隔透視の体験をお聞かせください

◆本講座を終えるに当たりもう一度宇宙の意識を考えてみましょう。